

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：

事業所名：放課後等デイサービス 放課後等デイサービス とことこ戸塚教室

対象人数（保護者）23人 回答者数 14人 回収 60.9%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	3		活動内容の工夫をしながら、ケガのないようご配慮いただいておりますが、子供が帰宅後に「今日は人数が多かったから、やりたかった遊びは無しになった(出来なかった)。」と嘆く日もあり、状況によって自由時間の活動に制限が必要となっている様子がある為。
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	2		
	③ 生活空間は、こども本人にわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	4		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13		1	通所する子供それぞれの使い方によると思いますが、トイレの汚れや水道周りの水濡れ、使い終わったペーパータオルがゴミ箱に入らずに落ちている等、不快に感じる部分があると子供から聞く事がある為。 できれば、衛生面の確認を複数回していただいたり、基本的な生活習慣の部分の子供への声掛けと見守りを増やしていただくと、環境も改善されるのではないかと感じます。
適切な 支援の 提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2		
	⑥ 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	4		
	⑦ こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1		
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	2		
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	2		
	⑩ 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1		
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	5	
保護者 への 説明 等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	3		
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14			
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	4	
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	3		
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	3		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされている と思いますか。	11	3		
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催 等により、保護者同士の交流の機会が設けら れるなど、家族への支援がされているか。ま た、きょうだい向けのイベントの開催等によ り、きょうだい同士の交流の機会が設けられ るなど、きょうだいへの支援がされています か。	2	3	9	
	⑲	子どもや家族からの相談や申入れについて、 対応の体制が整備されているとともに、こど もや保護者に対してそのような場があること について周知・説明され、相談や申入れをし た際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	5	1	
	⑳	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の ための配慮がなされていると思いますか。	9	5		
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活 動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者に 対して発信されていますか。	9	4	1	
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると 思いますか。	13	1		
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対 応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアル等が策定され、保護者に周知・説 明されていますか。また、発生を想定した訓 練が実施されていますか。	9	4	1	
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的 に避難、救出その他必要な訓練が行われてい ますか。	14			
	㉕	事業所より、子どもの安全を確保するための 計画について周知される等、安全の確保が十 分に行われた上で支援が行われていると思い ますか。	9	5		
	㉖	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、 事業所から速やかな連絡や事故が発生した際 の状況等について説明がされていると思い ますか。	10	4		
満足度	㉗	子どもは安心感をもって通所していますか。	14			
	㉘	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2		下級生との活動に疲れてしまう日が、最近 は多い様子です。自分の立ち位置を考えたり、 場面によって自分のやりたい事よりも下級生 の手伝いを優先しなければと考えたりして、 複雑な心境もあるよう。ですが、保護者とし ては、成長に必要な経験の場であると感じて おり、以前までの通所前と違う様子が見られ ても、きっと楽しんでくるといいたいと思 いで送り出しています。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	12	2		

※1「子ども本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		とことこ戸教室			公表日	2026 年 4 月 末日
		チェック項目	はい	いいえ	ご意見	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	50%	38%	<ul style="list-style-type: none"> ・人数によっては狭いと感じることがある ・（視覚的に）カーペットとフロアで分かれていることで遊びやすさ、過ごしやすさがあると思う 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	63%	38%	<ul style="list-style-type: none"> ・配置を考慮したサービスを提供できていると思う 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	25%	63%	<ul style="list-style-type: none"> ・2階まで行く手段は階段のみ ・入室からの導線にもう少し工夫を凝らしても良いと思う ・空間は適切だと思うが、階段しかないのでバリアフリーとは異なると思う 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	63%	38%	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚刺激は少ないと感じる ・カーペットのめくれやコードの配置などの改善が必要だと思う ・もう少し広いと良いと思う ・カリキュラム内にも掃除時間を設け、サービス提供後も職員が掃除を行っている ・ココロコやほうきなどのグッズもある ・車内清掃が行き届いていない 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	63%	38%	<ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンのための決められた個室が使用できると良い ・体調不良や職員の判断により使用できる個室がある 	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	63%	38%	<ul style="list-style-type: none"> ・時間により難しい時がある ・業務の共有、児童の振り返りは定期的に行っているが、職員の業務改善について見直す機会が設けられていないと感じる 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表についてあまり認識できていなかった、また、改善されたように感じない 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・時間により難しい時がある ・振り返りの時に困りごととして共有され、話し合いで決定されることがあると思う 	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25%	75%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性を感じている ・第三者評価を実施しているかは不明 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	88%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容をより興味してほしいと感じる ・研修は事業所内で行われているものの、外部研修などを取り込めば知識の獲得に繋がると思う 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	88%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの開催により、職員間の児童への認識のすり合わせができています 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGや個人ファイルの閲覧が、在籍職員ならば誰でも閲覧可能であるため、正確な情報を得ることができていると思う 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけ等の連携を通して児童に平等に関わることができていると思う 	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%	・現在は、特定の職員が作成し、振り分けを行っている ・2026年度より実施予定
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・5領域に沿った内容を展開している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	88%	13%	・自由時間に個別時間を選択することができる ・現在、専門的支援を行っていない
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	・時間により難しい時がある ・ミーティングでは業務確認を行い、役割分担などは決まっていない ・ミーティングが難しい時もある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	・時間により難しい時がある ・時折できていないことがある ・当日中に難しい場合は、翌日等に行っている ・振り返りができない日もある ・気付きを共有できる人でできない日があり、ムラがあると感じている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・HUGへの記載を行っている ・サービス提供記録を入力している ・記入者が固定化されているので、視点も偏ってしまうのではないかと懸念がある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・モニタリングを通して児童認識のすり合わせ、改善等ができています
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	・地域交流としてゴミ拾いを、基本的生活動の獲得として日々の掃除時間を、検索活動として工作を、余暇の提供として自由時間を設けている
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	88%	13%	・スペースの問題もあり、希望に添えないこともある ・児童らが「どうしたいのか」「どうしたかったのか」を尋ねることを行き死しており、一緒に解決策を考えるなどしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・児発管が参加している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	75%	25%	・時折、連携がうまくいっていないことがある ・日々、報連相を心がけている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%	・とことこ戸塚第2教室と連携している ・不明
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	25%	63%	・該当児童が在籍していない ・用意はあるが、実際の機会がまだない ・未経験
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	38%	63%	・用意はあるが、実際の機会がまだない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	・用意はあるが、実際の機会がまだない ・法人内の高齢者施設や他事業所とやり取りをすることがある
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・ペアレントトレーニングは実施していない ・送迎時にフィードバックを行ったり、HUGへのサービス提供記録を公開したりしている	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	・参観日を設けている ・保護者参観を実施している
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	88%	13%	・参観日を設けている ・保護者参観を実施している
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・Instagramを活用している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・同意書を作成している ・HUG掲載時には児童の顔などが写っていないかを留意している
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・送迎時にフィードバックを行ったり、HUGへのサービス提供記録を公開したりしている ・面談を実施している
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	38%	63%	・昨年は昇フェスタが開催された ・法人内の高齢者施設との交流機会がある
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・プロジェクト内でマニュアルの見直しを行っている ・職員研修を実施している
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・職員研修、避難訓練の実施がある
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	63%	38%	・不明 ・共有ノートを活用している ・振り返りも記録をとり、共有や見直しができるようにしている
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	38%	63%	・現在、該当児童がいない ・対象児童がいない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	88%	13%	・研修によって学ぶ機会がある
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	88%	13%	・HUGに掲載している ・家族に周知されているかは不明
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・職員間並びに事業所内にて共有され、記録をつけている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・研修の中でも虐待研修には特に注力されていると思う
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・研修で学び、該当する可能性が示唆された場合には相談を行っている

○事業所名	放課後等デイサービスとことご戸塚教室		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 8日		2026年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数)
			14人
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)
			7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成の際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援にかかわる職員が共通理解のもとで、特性を考慮した検討を行っている。	2025年11月より新しい児童発達支援管理責任者が着任しています。支援計画の作成等において、すべての職員に聞き取りを行っています。また、資料等につきましても報連相を必ず実施しています。	児童の目標や特性などを理解し、活動やアプローチに生かせるよう、日々の朝礼や振り返りをより充足化していきたいと考えています。
2	活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	InstagramやTikTokにて子どもたちの流行や興味関心を持つような内容を探し、日々情報収集を行っています。	2025年度までは固定化された職員が活動を決めておりました。しかし、職員のスキルアップのためにも、担当制で活動を定める体制へと変更していきます。これまでと変わらず、活動が固定化されないよう日々工夫を凝らしていきます。
3	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対策などのマニュアルを策定し、職員に周知し、発生を予想した訓練を実施している。	社会福祉法人昂には放課後等デイサービスが6施設、児童発達支援が1施設ございます。その中で職員が選出され、プロジェクトに参画しながら、マニュアルを作成し、研修を行っています。	作成したマニュアルの見直しと改訂ならびにそれらのより一層の浸透は不可欠だと考えています。また、マニュアル等を保護者様にもより発信していく必要があると思っています。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間が、清潔で、心地よく過ごせる環境を整える。	手洗いまわりの水濡れやペーパータオルの捨て置きなどにつきましてご意見をいただきました。	手洗い場にはハンドソープを複数個、水が拭き取れるスポンジを1つ設置しました。また、ご意見を職員の中で共有し、衛生面への意識づけを行っています。また、カーテンやスリッパ置き場の目印なども設置することで、より清潔感のある教室づくりを目指しています。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなどの家族支援の実施。	保護者会は年2回実施しておりますが、保護者様への周知や浸透においてより一層尽力する必要があると考えています。	教室内でのペアレントトレーニングの実施は難しいため、保護者参観DAYの充足化を検討しています。
3	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮について。	HUGを通じて子どもの日々の情報共有を行っています。その中でも、送迎ミス（自宅/学校などお迎え場所や時間帯の誤認など）が見受けられました。	保護者様ならびに関係機関の皆様にはご迷惑をおかけしており、誠に申し訳ございませんでした。教室内で、連絡事項等はより一層の情報共有が必要だと考えております。また、口頭だけでなく記録にも残していきます。